

令和 6 年 1 2 月

第 1 9 回

会 議 議 事 録

議 長 松澤 正久

署名委員 前田 健造

署名委員 山岡 佐智子

川 口 市 農 業 委 員 会 事 務 局						
会 長	会長職務代理者	事務局長	事務局次長	農地係長	主 事	係
令和 7 年 1 月 1 4 日 供覧の上、公開してよいか伺います。			合 議			
			農政課長	農政係長	農業振興係長	事務局主査

第 19 回川口市農業委員会会議議事録

1 川口市農業委員会告示第9号

下記について付議するため、12月25日（水）午前10時00分、市役所第一本庁舎5階503・504中会議室に、第19回川口市農業委員会会議を招集する。

川口市農業委員会
会長 松澤正久

記

2 出席農業委員

会長 松澤 正久	1 番 森 京子	2 番 飯塚 秀行	4 番 山岡 佐智子
5 番 豊田 満	6 番 中田 裕子	9 番 伊藤 勝博	

3 欠席農業委員

3 番 小櫃 敏文	8 番 沖田 保	10 番 中山 正二
-----------	----------	------------

4 出席推進委員

細田 敏雄	船津 新一
-------	-------

5 出席職員

事務局長 佐藤 武弘	事務局次長 吉田 浩司	農地係長 大塚 俊之
------------	-------------	------------

6 開会

午前10時00分、松澤会長は議長席に着席し、委員の過半数の出席により会議が適法に成立した旨を告げ、開会を宣言した。

7 議事録署名委員

議長は、議事録署名委員を慣例により議長から指名してよいか諮ったところ全員異議なく、会長職務代理者 前田 健造委員、4 番 山岡 佐智子を指名した。

8 農地法第4・5条届出総括表及び報告事項の内容について

- (1) 議長は、届出総括表及び報告事項の内容について事務局に説明を求めた。
- (2) 事務局は、届出に係る専決処理事項について届出書及び添付書類を審査し、すべての要件が満たされており、適法であったので専決した旨を説明し、報告事項1から報告事項8について「資料1」により逐次説明し、全員これを了承した。
- (3) 議長は、報告事項9「農地利用最適化推進委員の活動報告について」に関して、農地利用最適化推進委員に報告を求めた。
- (4) 農地利用最適化推進委員は、次のように報告した。

船津推進委員 「私たち推進委員の活動はどういったものかと申しますと、「1 活動の内容」の(1)から(3)に記載のとおり、農地の集積、遊休農地の発生防止・解消活動、新規参入の促進活動が主な活動内容でございます。

農業委員の作成する活動記録簿や農地パトロールの結果、さらには各種調査結果などの情報をもとに農地所有者を訪問し、状況確認や相談活動などを行っております。

具体的な活動の成果につきましては「2 活動の成果」としてご報告いたします。

(1)農地の集積、遊休農地の発生防止・解消活動でございますが、農業委員の皆様が作成する活動記録簿などの情報をもとに、本年も川口市農地バンク制度への登録を推進いたしました。

その結果、令和6年度においては11月末時点で2件、1,844㎡の登録が行われ、その内1件779㎡について耕作希望者とのマッチングを達成することができました。

また、農業委員の皆様が行った農地パトロールの結果を受けて遊休農地等の所有者を訪問し、状況を確認しながら、伐根伐採の協力や耕作対応を促し、農地の保全・回復に努めているものでございます。

その他の成果につきましては記載の通りでございますが、現在、特に力を入れて取り組んでいるのが、農地基本台帳整備に係る調査により「貸したい」「売りたい」と回答したかたに対し、エリアを定めて戸別訪問を実施し、農地バンクへの登録の推進でございまして、その取り組みの状況についてご報告いたします。

現在、農地基本台帳整備に係る調査結果に基づき農地バンク制度のご案内を実施しております。

具体的には8.1調査において「農地を売りたい」「農地を貸したい」と回答した農地所有者に対し農地バンク制度のご案内を行っているもので、すべて訪問による対応をしているものです。

資料の3ページは神根・安行地区の市街化調整区域内の調査結果を表したもので、上段の地図は活用意向として今後農地を自ら耕作すると回答した方を紫色、「農地で貸したい」というかたを黄色、「農地で売りたい」というかたを赤、自ら管理すると回答したかたを緑で示したもので、今回は黄色と赤で塗られたかたを訪問対象としておりますが、7月に実施した意見交換会でイイナパークやグリーンセンターなどを核とした農地保全策というご意見もあったことから、下の図で示している通り、イイナパーク周辺とグリーンセンター北側の青く塗られている部分を調査地区とし訪問を行っております。

実施期間は11月から来年3月までにすべての世帯を訪問予定で、36名、83筆が対象となっております。

訪問を開始して2ヵ月が経過し、5件訪問しました。農業者の中には農地を貸すことに抵抗があるかたも見られますが、粘り強く交渉を行い、結果1件の農地バンク登録に繋げることができました。

今後も1件でも多く農地バンク登録に繋げられるよう取り組んで参りたいと思います。

また、既に御承知とは思いますが、12月13日発行の全国農業新聞において川口市農業委員会を取り上げて頂きました。

農業委員会の取り組みや私ども農地利用最適化推進委員の活動が評価されたものだと思いますが、今後も同制度が機能し、農地保全の推進に繋がるよう活動を行ってまいりたいと思います。

活動報告は以上でございます。」

議長 「はい、ありがとうございました。

最後の全国農業新聞に取り上げられたということですが、これはある意味、都市農業とし

て、都市農地の減少、その他色々な問題を抱えているなか、川口市においては、この農地バンク制度というのがうまく機能して、マッチングが成功している事例として、川口市は埼玉県内ではトップであるということでこの取材を受けた訳です。

ですから、やはり、どこの都市農業でも、なかなか農地の減少を農地のマッチングでカバーしていくことは、難しいことだと思います。

川口市も今の段階ではそれほどマッチングができた訳ではないですけど、他の都市農業を営んでいる市と比べると、川口市は素晴らしい実績をあげたということで取り上げられた訳でございます。

ここまで来るには、農地利用最適化推進委員のかたがたの非常に地道な活動をされてきた結果だろうと思います。

1 回行っただけでは相手にしてくれないというのは実情だそうでございます。

何回か足を運んでいる内に、相手の農業者さんも本気で聞いてくれるようになる、そういう積み重ねが、この川口市の結果になった、この結果が農業新聞で全国的にPRされたということでございます。

なお、この地図をご覧頂きたいと思うのですが、農地利用最適化推進委員のかたがたは、この地図を頼りに、一軒一軒まわる訳です。

それで、この地図は、例えば活用の意向について、自ら耕作する、農地を貸したい、農地で売りたい、自分で管理する、という色分けをしていますので、農家のかたの家を訪問して話をする際に、貸したい、売りたい人なのかという目で分かるため、農地利用最適化推進委員がまわるときに非常に有効なツールになっているということでございます。

これらのツールを局次長が中心になって、事務局の皆さんでそういうツールをこしらえているんだ、ということもご承知おきを頂きたいと思います。

ま、こういうことも相まってですね、実績をあげることができたということでございます。

農業委員のみなさんには、自分の担当地域の情報を、極力組み上げて頂いて、これを農地利用最適化推進委員のかたがたに伝達をするという一端につきまして、ご協力を益々お願いしたいという風に思います。

あとは、この後、特に議事はありませんので、事務局連絡の前に、農地の減少を食い止めていくためのマッチングが今一つ出ましたが、一方で、こういった取り組みも行っております。

皆様がたと、これからの川口市の農業をどうするのかということのご意見を承る意見交換会を一度開きました。

この後に、もう少し幅を広げて、いわゆる農地の保全と相まって、これからの川口市の農業をどうするのか、どのようなことをすれば活性化できるのか、これを併せて取り組んでいかないと、農地の減少を食い止めることには繋がらないということで、もうひとつの活動として、先日、農業委員会の代表、それからかたや農政課では農政審議会というのがありますが、そこからも委員として2名入って頂いたプロジェクトチームというのを作り、先日、第1 回目の会議を行いました。

この会議では、まず、テーマを絞って取り組んでいこうということで、第1 回では、農園関係、いわゆる市民農園、あるいは体験農園、その他いわゆる貸農園について、これから川口市でこれを展開していく可能性はどうかという議論を行いました。

この後、プロジェクトチームの会議を3 回予定しております。しかし、それで、まだ漏れがあったら第4 回目まで会議を開いて、色々、委員さんと議論をしていこうということになっております。

それで、そこだけで終わったのでは何にもなりません。次に、農政課、農業委員会の事務方の皆さんで、ワーキンググループというのを作って頂きます。

そして、プロジェクトチーム、その他皆さんから出てきた色々なご意見、これをまとめ上げて、その中から、できることとできないことの取捨選択をし、施策として作り上げていきます。

それで、この施策を短期で解決できるもの、中期で解決するもの、あるいは、また、長期中で解決するものという風に分けて、そして具体的に取り組んでいくということをこれからやっていくことになっております。

ということで進むつもりでおりますので、農業委員の皆さんには、今後とも、色々なことをお願いすることもあるかもしれませんが、この施策を進めていく上で、お力を貸して頂

きたいなと考えておりますので、ぜひ一つよろしく願いいたします。」

9 連絡事項

- ・都市農業保全プロジェクトチームについて
- ・地域計画に係る協議の場について
- ・川口の農業だよりについて
- ・新年会のお知らせについて

10 閉会

午前10時50分、議長は報告がすべて終了した旨を告げ、第19回川口市農業委員会会議を閉じた。

前記のとおり相違のないことを証するため署名押印する。

令和 6年12月25日

議 長

⑨

署名委員

⑨

署名委員

⑨